

(15)社会貢献・連携活動の状況

本学は地元自治体(山形県・山形市)が学校法人と大学を新たに設置する「公設民営」方式により設立された大学であるという経緯もあり、芸術・デザイン系大学としては全国に先駆けて開学当初より積極的に地域や企業との連携に取り組んできています。
本学では総合研究センターを中心に、各種研究センターが学外からの受託研究業務の相談に応じており、平成22年度は64件約3,000万円の研究業務を受託するなど、芸術・デザインという教育研究の特色を生かし、地域になくてはならない大学としての存在感を高めています。

■総合研究センター

1 受託研究事業

産学連携を中心とした地域との連携に関する窓口として年間を通じて相談業務を実施しており、平成22年度の相談件数は120件に上っています。そのうち受託研究に結びついたものが38件、委託研究費の総額は約1,900万円となっています。

2 教育と産業界との橋渡し

デザイン工学部の教育方針である「産学連携、地域プロジェクトなどの積極的導入によるリアリティのある実践」を側面から支援。平成22年度は次のプロジェクトにおいて企業との覚書締結等側面支援を実施しています。

- ・山形カシオ株式会社(テーマ:センサー技術を活用したプロダクト)
- ・アイリスオーヤマ株式会社(テーマ:電子レンジで使用する調理器具)
- ・株式会社多田木工製作所(テーマ:家具のはっこによるモノづくり)

3 地域企業との交流会

地域の産業と芸術・デザインとの橋渡しのため、企業や行政等関係機関との交流も実施。平成22年度は、卒業／修了研究・制作展開催期間に「地域産業と大学との交流会 TUAD『卒展を見る会』」を開催。地元企業や行政など約30社からの参加者を集め、デザイン工学部長によるセミナーと卒業制作展の見学、情報交換会を実施しました。

4 知的財産保護等への取り組み

学生や教員による創作に関する知的財産保護等への取り組みも実施。平成22年度からは、独立行政法人 工業所有権情報・研修館による「広域大学知的財産アドバイザー」事業にも参画し、知的財産保護等のための体制及び諸規程の見直し等に取り組んでいます。

■デザイン哲学研究所(含サステナブルデザイン研究センター)

1 オープン・リサーチ・センター整備事業

文部科学省オープン・リサーチ・センター(ORC)整備事業「デザインの意味と本質について意識変革を促す活動とそのための基礎調査研究」(平成19年度～23年度)の採択を受けて、以下のプロジェクトを実施しました。

- ・デザイン哲学叢書『デザインの知』vol. 5の発行及びやまがた・サステナブル・デザイン展の開催
- ・講演会、オープンセミナーの開催 計2回
- ・デザインカフェの実施 計2回
- ・サステナブルデザインアイデアコンペ2010の開催
- ・その他各種事業

2 サステナブルデザイン研究センター

平成23年2月26日から27日にかけて第5回サステナブルデザイン国際会議を本学にて開催。研究者や学生のみならず多くの市民や企業等を巻き込んでこれからの社会のあり方について考える学会となりました。